

2008/07/01

大阪大学蛋白質研究所セミナー
先端磁気共鳴がもたらす生体系研究の新展開

日時:平成 20 年 7 月 24 日(木)、25 日(金)

場所:大阪大学蛋白質研究所(吹田キャンパス) 1 階講堂

(http://www.protein.osaka-u.ac.jp/index_jap.html)

7 月 24 日(木)

- 13:30-13:40 所長挨拶
- 13:40-14:10 高磁場 DNP と固体 NMR 生体分子複合体構造解析 藤原敏道(阪大 蛋白研)
- 14:10-14:40 EPR・MRI システムを用いたバイオマーカーの分子イメージング 藤井博匡(札幌医大 保健)
- 14:40-15:10 電子スピン共鳴法による酸化ストレスの生体計測 竹下啓蔵(崇城大 薬)
- 15:10-15:40 Overhauser 効果 MRI の開発と生体レドックスの分子イメージング 内海英雄(九大 院薬)
- 休憩—
- 16:00-16:30 超偏極スピンによる NMR/MRI の高感度化と生体機能評価: 藤原英明(阪大 院医)
He-3,Xe-129 から C-13,N-15,Li-6 などへの展開
- 16:30-17:00 SAIL 法を用いたタンパク質動態の研究—芳香環の回転運動
甲斐荘正恒(首都大戦略センター/名大 院理)
- 17:00-17:30 NMR による細胞表層系構造生物学 嶋田一夫(東大 院薬)
- 懇親会—

7 月 25 日(金)

- 9:20- 9:50 NMR データの高速測定とタンパク質のスピンラベル
児嶋長次郎(奈良先端大 バイオサイエンス)
- 9:50-10:20 ライブセル NMR: 細胞内蛋白質の構造・機能観察 朽尾豪人(京大 院工)
- 10:20-10:50 多周波数・強磁場 EPR による金属タンパク質研究の新たな展開 堀 洋(阪大 院基礎工)
- 休憩—
- 11:10-11:40 1mmφ 固体 NMR プローブの開発と微量生体試料への応用 山内一夫(東京農工大 院共生)
- 11:40-12:10 Field Programmable Gate Array 集積 NMR 分光計の開発と応用 武田和行(京大 院理)
- 12:10-12:40 HyperSense を用いた DNP-NMR 研究の最新事例
阿部孝政(オックスフォード・インストゥルメンツ(株))
- 閉会—

世話人 : 藤原敏道(阪大 蛋白研)、児嶋長次郎(奈良先端大 バイオサイエンス)、内海英雄(九州大 院薬)

連絡先 : 〒565-0871 吹田市山田丘 3-2 大阪大学蛋白質研究所 機能構造計測学研究室 藤原敏道

TEL:06-6879-8598 E-mail:tfjwr@protein.osaka-u.ac.jp 参加費・事前登録:不要